



リンク ロケーションのプロビジョニング

Hosted UCS 7.1A の新しいリンク ロケーション機能により、単一のサイト コードを、リンク ロケーションと呼ばれるロケーション グループ内で共有できるようになりました。これにより、内線のみダイヤルと単一サイト コードの使用で、リンク ロケーション内にある任意の電話機と通話することができます。また、ハント グループにリンク ロケーション内の任意のロケーションからの回線を含めることもできます。

リンク ロケーション グループ内では、1 つのロケーションがグループのサイトコードを提供する親リンク ロケーションになります。親リンク ロケーションとサイトコードを共有するその他すべてのロケーションは、子リンク ロケーションと呼ばれます。リンク ロケーションは、別のディビジョン内にあってもかまいませんが、単一のカスタマーである必要があります。

親から子へ継承される詳細リストは次のとおりです。

- Site Code
- Extension Length
- Hardware Group
- PBX Template
- Global Site Partition

子ロケーションにある他のすべての設定やリソースは、親から独立しています（例：公開番号、緊急番号、ボイスメール、ゲートウェイ等）。ホステッド UCS の場合、ダイヤル プランのバルクは、CCM および PGW モデルについて親子で独立しています。

リンク ロケーション（共有 SLC）を定義および設定するには、次の手順を実行します。

- 「親リンク ロケーションの設定」(P.12-1)
- 「子リンク ロケーションの追加」(P.12-3)
- 「E.164 インベントリの管理」(P.12-3)
- 「リンク ロケーションのハント グループと番号グループ」(P.12-3)

親リンク ロケーションの設定

親リンク ロケーションは、カスタマーの下にある既存の標準ロケーションをリンク ロケーションに変換するか、新規親リンク ロケーションを追加することにより、USM を介して設定できます。親リンク ロケーションを設定するには、次のいずれかを選択します。

- 標準ロケーションの親リンク ロケーションへの変換
- 新規親リンク ロケーションの追加



(注) ロケーション設定に基づいて、次のいずれかを選択します。

標準ロケーションの親リンク ロケーションへの変換

-
- ステップ 1 [General Administration] > [Locations] を選択します。
 - ステップ 2 親リンク ロケーションに変換する標準ロケーションをクリックします。
 - ステップ 3 [Linked Location Parent] チェックボックスをオンにします。
 - ステップ 4 [Modify] をクリックします。
-

親リンク ロケーションを追加します。

[Customer] の下に新規親リンク ロケーションを追加するには、次の手順に従います。

-
- ステップ 1 [General Administration] > [Locations] を選択します。
 - ステップ 2 [Add] をクリックして、新規ロケーションを追加します。
 - ステップ 3 [Location details] で、次のように入力します。
 - [Location Name] : <LocName> (例 : **Cus1Div1LLParent**)
 - [Address1] : <Address>
 - [City] : <CityName> (例 : **Reading**)
 - [Country] : <Country>。たとえば [United Kingdom] を選択します。
 - [Post/Zip Code] : <PostCode> (例 : **RGB 6G2**)
 - [Contact Name] : <ContactPerson> (例 : **Yuvaraj**)
 - [Location Type] として [Linked Location Parent] を選択します。
 - ステップ 4 [Next] をクリックします。
 - ステップ 5 [Hardware Group] で、ハードウェア グループ (たとえば [pgw2-e2c2-hwgrp]) を選択します。
 - ステップ 6 [Site Code and area code] で、適切な値を入力します。
 - ステップ 7 [Subnets] で、そのロケーションへの IP サブネットを選択します。
 - ステップ 8 [Next] をクリックします。
 - ステップ 9 [Phone Types and Number] で、適切な値を入力します。
 - ステップ 10 [Add] をクリックします。
-

子リンク ロケーションの追加

子リンク ロケーションを追加するには、親と同じ [Customer] に追加します。

-
- ステップ 1 [General Administration] > [Locations] を選択します。
 - ステップ 2 [Add] をクリックします。
 - ステップ 3 [Location details] で、次のように入力します。
 - [Location Name] : <LocName> (例 : **Cus1Div2LLChild1**)
 - [Address1] : <Address>
 - [City] : <CityName> (例 : **Reading**)
 - [Country] : <Country>。たとえば [United Kingdom] を選択します。
 - [Post/Zip Code] : <PostCode> (例 : **RGB 6G2**)
 - [Contact Name] : <ContactPerson> (例 : **Yuvaraj**)
 - [Location Type] として [Linked Location Child] を選択します。
 - ドロップダウンメニューから [Linked Location Parent] を選択します (例 : [UKDivision1: Cus1Div1LLParent (Site Code : 111)])。
 - ステップ 4 [Next] をクリックします。
 - ステップ 5 [Dial Plan] で、[Dial this to get outside line] (たとえば [9]) を選択します。
 - ステップ 6 [Default Area Code] (たとえば [1402]) を選択します。
 - ステップ 7 [Subnets] で、そのロケーションへの IP サブネットを選択します。
 - ステップ 8 [Next] をクリックします。
 - ステップ 9 [Phone Types and Number] で、適切な値を入力します。
 - ステップ 10 [Add] をクリックします。
-

E.164 インベントリの管理

リンク ロケーションの E.164 インベントリの管理は、標準ロケーションと同様です。E.164 番号を作成し、E.164 番号をリンク ロケーションの内線と関連付けるには、「[E.164 インベントリの作成](#) (P.4-2) を参照してください。

リンク ロケーションのハント グループと番号グループ



(注) このセクションに含まれている手順はオプションで、リンク ロケーションでハント グループまたは番号グループを設定する場合だけ必要です。

さまざまなリンク ロケーションに関連付けられている回線は、リンク ロケーション内の番号グループにおける追加に使用できます。回線を別のリンク ロケーションにある番号グループに追加するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Location Administration] > [Number Groups] を選択します。
 - ステップ 2** 追加すべき番号グループのリンク ロケーションを選択します。
 - ステップ 3** [Add] を選択します。
 - ステップ 4** 別のリンク ロケーションからの回線にはロケーション名が付いていて、番号グループ内の回線番号として追加することができます。
 - ステップ 5** 適切な回線番号を選択してその他の詳細を入力します。
 - ステップ 6** [Add] をクリックします。
-